

あなたの



をまちづくりに

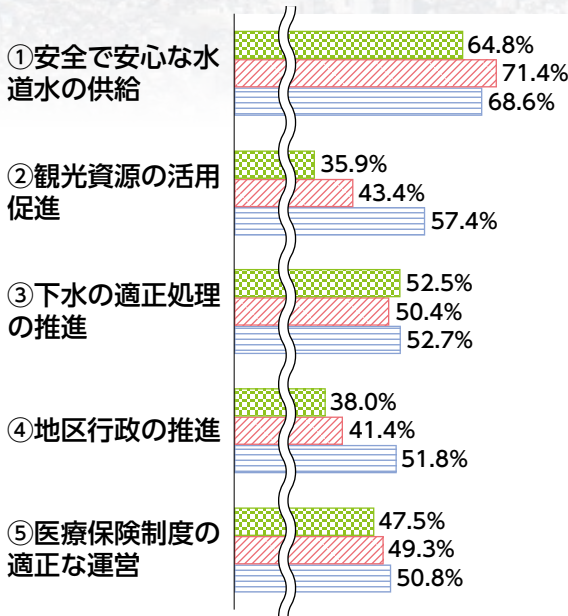
市政に関する世論調査

世論調査は、市民の皆さんが市政についてどのように考え、また、何を望んでいるのかを把握し、今後の施策に役立てるために、毎年実施しているものです。

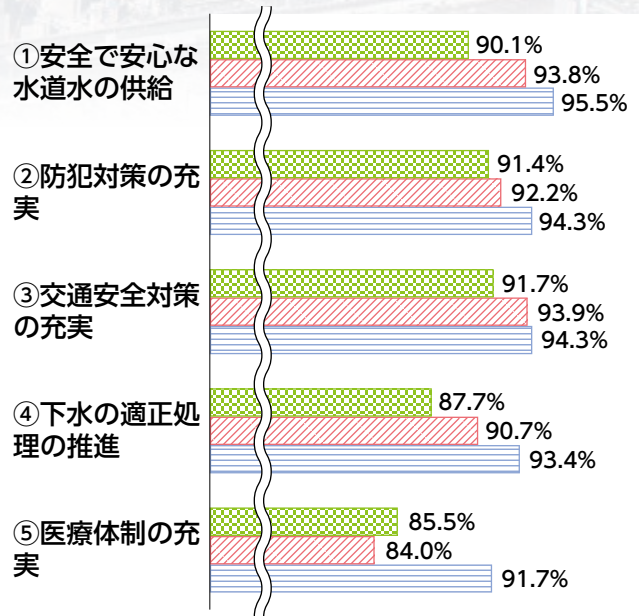
今回は、その結果をお知らせします。なお、結果の一部は、4ページにも掲載しています。

調査に当たっては、多くの皆さんにご協力いただき、ありがとうございました。

満足している施策 (5位まで)



重要だと思える施策 (5位まで)



凡例 ■ 平成25年 ■ 平成26年 ■ 平成27年

世論調査の方法と調査項目

■ **対象** 満20歳以上80歳未満の市民の皆さん4800人。住民基本台帳から無作為抽出。

■ **調査方法** 郵送など。

■ **調査期間** 平成27年7月29日～8月12日。

■ **有効回収数(率)** 2434人(50.7パーセント)。

■ **調査項目** 「市に対する感じ方」「広報媒体の活用状況」「男女共同参画」「住宅用火災警報器」「市議会の広報紙」「市政情報コールセンターとよくある質問」「上下水道局発行の広報紙」「水道事業のあり方」「水道水」「生物多様性」「特殊詐欺」「栃木SCのホームゲーム」「景観」「家庭の日」「自転車のまちづくり」。

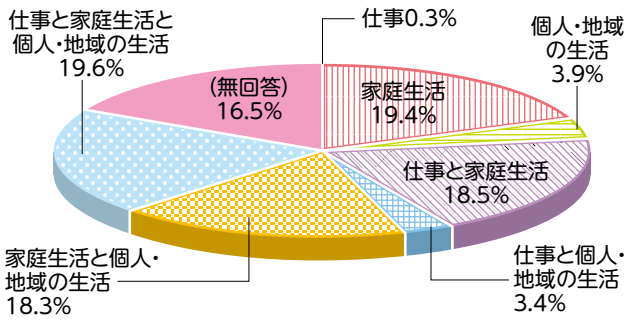
また、市の施策を目的別に分類し、満足度と重要度などの「市の取り組みについての意識調査」を合わせて実施。

◎集計の合計は、四捨五入や複数回答により、100パーセントにならない場合があります。

◎市政に関する世論調査の詳しい内容や結果、分析をまとめた「市政に関する世論調査報告書」は、行政情報センター（市役所1階）または市ホームページでご覧になれます。

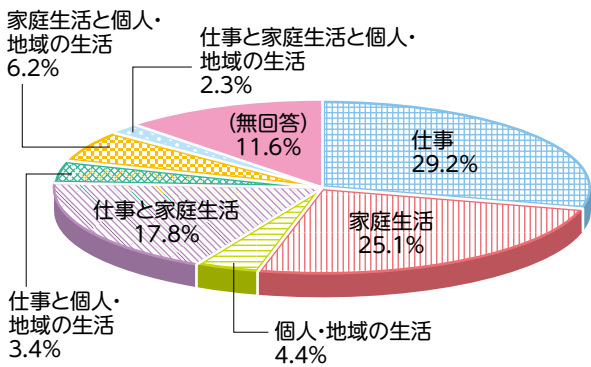
グラフ2

生活の中で優先するもの(理想)



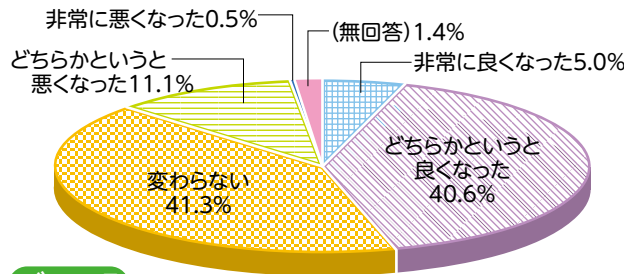
グラフ3

生活の中で優先するもの(現実)



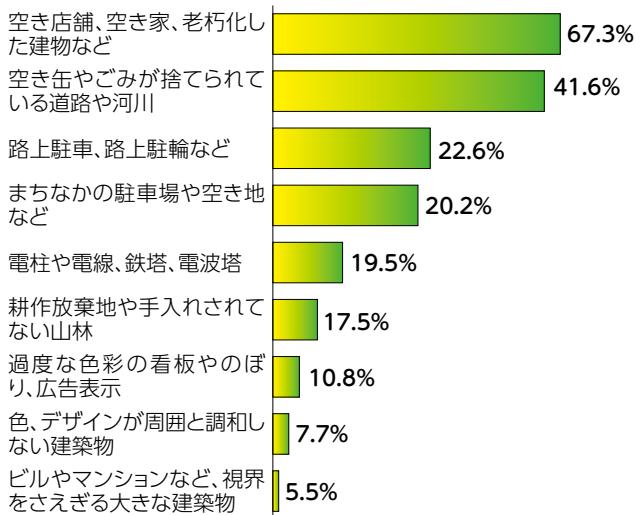
グラフ4

宇都宮市の景観は、10年前と比べてどうなったと感じますか。



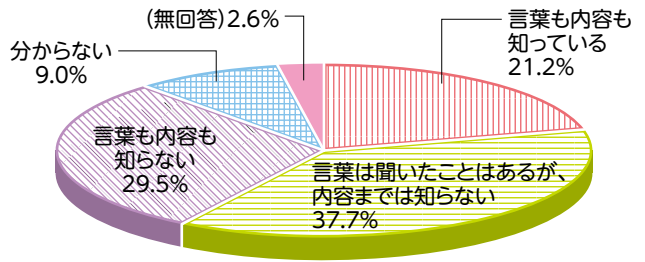
グラフ5

景観上好ましくないものは何だと思いますか。



グラフ1

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という言葉を知っていますか。



男女共同参画

質問 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和※)という言葉を知っていますか(グラフ1)。

「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」が、内容までは知らないが、「言葉も内容も知っている」を上回りました。男女共同参画のイメージはあるものの、具体的な内容となるような理解しにくい面があるのかもしれない。現実社会での実践の積み重ねを、意識の変化につ

宇都宮の景観

質問 生活の中で、何を優先しますか(グラフ2・3)。

「理想」と「現実」のギャップが最も大きかったのが、「仕事を優先する」です。

一方、「家庭生活を優先する」と「仕事と家庭生活を優先する」については、理想と現実の割合の差があまりありませんでした。家庭生活を優先したいと考えている人は、現実でもそれを実現しているのではないのでしょうか。

宇都宮の景観

質問 宇都宮の景観は、10年前と比べてどう感じますか(グラフ4)。

景観の変化を聞いた設問であり、「非常に良くなった」、「どちらかという良くなった」、「どちらかという悪くなった」と回答した人が「良くなった」と感じられるような、景観施策に取り組むことが市には求められます。

質問 景観上好ましくないものは何だと思いますか(グラフ5)。

「空き店舗、空き家、老朽化した建物」などが高い割合となりましたが、活用の仕方によっては街を再生させ、新しい息吹を与える貴重な資産でもあり、景観の向上に直結します。

「空き缶やごみが捨てられている道路や河川」は、市民の皆さんのマナー向上が不可欠です。

宇都宮の景観は、市民の皆さんの意識にも懸かっています。

※ワークライフバランス(仕事と生活の調和)とは、一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに家庭や地域生活などでも、子育て期・中高年期といった人生の各段階に応じて、さまざまな生き方が選択・実現できることをいいます。

◎市政に関する世論調査結果の考察は、中村祐司さん(宇都宮大学国際学部教授)によるものです。

◎この特集についての問い合わせは、広報広聴課☎(632)2022へ。